



スリーハートレポート

生活支援コーディネーターが
本宮の  を紹介します!



最近では毎年のように日本各地で豪雨災害による大きな被害が起きています。また、震災から10年余り経過していますが、県内外を震源とする大きな地震もあり、その度に身がすくみますよね。『備えあれば憂いなし』ということで、今回は「自主防災組織」を結成し、住民が安心・安全に生活できるように年間を通して積極的に活動している本宮12区の防災訓練の様子を報告します。



住民への意識付けと組織の横の繋がりがポイント!
本宮12区町内会 自主防災会

11月13日、12区町内会の自主防災組織が中心となり大々的に防災訓練を実施しました。平成29年に自主防災組織を立ち上げてからの5年間で、毎年様々な内容の訓練を実施してきました。

今年度の訓練内容は、市の防災対策課職員と消防団員も参加し本宮市主要サテライト防災備蓄倉庫内の見学と災害時に避難所に設置する段ボールベッド等の組立て実習を参加者全員で行いました。



市の担当職員と一緒に、段ボールベッドの組立てにチャレンジ!



区内各地の役員の皆さん

(撮影時のみマスクを外しました)



「段ボール箱も補強パーツを入れれば丈夫なもんだなあ...」



12区ふれあいサロン

「慌てないで火元に向けましょう」

昨年度の訓練では、民生児童委員の方々も参加し、一人暮らしや高齢者世帯の安否確認と避難支援の具体的な方法を話し合いました。
また「12区民が備える防災チェックシート」を作成し、全戸に配布することで各世帯での災害への心構えを促しています。
遠藤会長は「災害が起きないのが一番だがこれだけ頻発している昨今、有事の際はこの経験や知識を役立たせたい」と話し、普段から他団体との横の繋がりが重要であると強調していました。

12区では今回の防災訓練と連動した活動も行われました。
11月19日ふれあいサロンでは、消防署員に指導を受け、参加した高齢者の方々は消火器を使つての消火訓練に真剣に取り組んでいました。
防災は一人一人がしっかりと適切に行動することに加えて、地域ぐるみの支援合いや助け合いが大事だと改めて感じました。



区長 野内光一さん

12区自主防災会
会長 遠藤 佐源治さん

「みなさんの要望を聴きつつ、防災対策を展開していきたいと思えます」